

## 聴覚障害児の読みに及ぼす文脈の影響 (その4)

岡田 明・緒方 佐千子\*

聴覚障害児の読みににおける予測制御理論を中心に検討することが今回の研究課題である。そのため被験者に文章の最初のセグメントを提示し、2番目以下のセグメントを予測させた。被験者が応答したならば、次の2番目のセグメントまで提示し、3番目のセグメントを予測させた。

結果をみると聴覚障害児の文節をクローズした場合の予測は不十分であった。指導場面では、もっと知的推量遊戯をさせることの必要性が示唆された。

### I) 目的:

聴覚障害児の読みに及ぼす文脈の影響を研究するにあたって、今までに文節削除による原文と組替え文に対するクローズ反応の比較(日心 43<sup>1)</sup>), 文脈の位置によるクローズ反応の分析(特教 17<sup>2)</sup>), 1文節削除ならびに1文字削除の影響(教心 23<sup>10)</sup>), ならびに4文字から成る単語から1文字を削除した場合のクローズ反応(特教 19<sup>11)</sup>)などを報告してきた。

今回は聴覚障害児の読みににおける予測制御を中心に検討することが課題である。読みのモデルは多数あるが、岡田はそれらをフィードバック理論にもとづくものと、フィードフォワード理論にもとづくものとに分けた。読みの指導では両理論の貢献を認めるものであるが、今回は最近注目されかつ、今まであまり考慮されることの少なかった後者に主に焦点をあてて考察をする。

### II) 方法:

#### A) 被験者

聴覚障害児の1と8, 健聴児群, 7と9は知能が低いので、分析には組み入れなかった。(表1, 表2)

#### B) 読書材 (小学校2年生用教科書から選定した。)

##### 1) 文節

えんぴつの しんは こくえんと いう 黒くて やわらかい 石とねん土で 作ります。えんぴつで 字や 絵が かけるのは しんの中に こくえんが はいって いるからです。けれども こくえんだけでは しんが やわらかくて おれやすいので ねん土を まぜるのです。ねん土を 多く まぜると かたくて 色の うすい しんが できます。

\* 昭和56年度人間学類卒業

表1 聴覚障害児群の性別等

	性別	学年	聴力損失	知能
1	男	中1	右100dB 左95dB	75
2	男	中1	右97dB 左100dB	108
3	男	中1	右100dB 左95dB	88
4	女	中1	右100dB 左98dB	110
5	男	中2	右93dB 左115dB	118
6	男	中2	右75dB 左80dB	88
7	男	中2	右105dB 左105dB	85
8	女	中2	右105dB 左110dB	50

表2 健聴児群の性別等

	性別	学年	知能		性別	学年	知能
1	男	小3	110	6	女	小3	90
2	男	小3	118	7	男	小3	76
3	女	小3	111	8	男	小3	85
4	男	小3	115	9	男	小3	67
5	女	小3	87				

少なく まぜると やわらかくて こい しんが できます。

##### 2) 文字

りくの どうぶつで いちばん おおきいのは ぞうです。おとな 六十にんぐらいのおもさの ぞ

うもいます。ちからが つよいので おおきい木や  
いしなどを はこぶのに つかうことも ありま  
す。また のりものにも あります。なが  
いはな。おおきいみみ。でも ちいさくて やさし  
いめを しています。

#### C) 手続き

1) 被験者に、文章の最初の文節のみを提示し、2  
番目の文節を予測させる。被験者が答えたならば、  
次に2番目の文節まで提示し、3番目の文節を予  
測させる。次は、3番目の文節まで提示し、4番  
目の文節を予測させる。そのようにして、文章の  
最後の文節まで予測させる。

2) 1.と同じやり方で、予測させる単位を、文節で  
はなく文字として行う。

#### D) 結果の処理法

- 6: 完全正答(原文通り)
- 5: 同義語
- 4: 文間の文脈に即して意味が通じる
- 3: 文内の文脈に即して意味が通じる
- 2: 前後の単語や句と関連するが意味が通じない
- 1: 全く意味が通じない
- 0: 記入なし

上記の7段階を基準として、評価する。

### III) 結果とその考察:

まず、表3ならびに表5、表6等により、クロ  
ーズ単位が文節の場合の評価段階別の反応の割合に  
ついて考察する。表3の結果を検定すると有意差  
が見られた。 $(X^2=27.8 \text{ df}=6 \text{ p}<.01)$

今回は、評価段階が0の部分に焦点をあてて分析  
を試みることにする。

聴覚障害児群では、特に0反応の割合が多い  
 $(X^2=10.9 \text{ df}=1 \text{ p}<.01)$ 。これは言語力、な  
かなく読解力の遅れを示すものであるが、同時  
に予測の欠落ないしはその貧弱さを示すものと  
思われる。

最近の読みの理論では、その予測制御が重視され  
ている。次に、諸家の理論を検討し、あわせて聴  
覚障害児の読みの問題を考察する。

H. Alan Robinson<sup>14)</sup>は、次のように述べている  
(読書教育学——読書教育の心理・社会言語学的  
基礎、総合教育技術 1973 1月号 82~91 こ  
れは筆者の訳によっている。)

「読みにおいて完全な正確さに関心を向けさせるよ  
りも、書き手の意図を獲得させるために、最少の

表3 評価段階別の反応の割合  
(クローズ単位が文節の場合)

評価段階	聴覚障害児群	健聴児群
6	5.2%	6.7%
5	3.3%	5.8%
4	2.1%	5.6%
3	10.1%	30.2%
2	27.5%	31.8%
1	20.7%	10.1%
0	31.1%	9.8%

手がかりを利用させる点に強調をおくべきであ  
る。多くの心理言語学者が述べているように、読  
みは、言語のどの面を利用することが大切かを考  
えておこなう知的な推量遊戯であるべきである。  
学習者は、意を求めるときに、誤りをおかすこと  
を奨励されるべきである。これが学習の仕方とい  
うものである。

推量遊戯は、文章の一部が混乱していたり、未知  
であったりする時に、子ども自身が使用すべき方  
略を学習したり、教師がその発達を援助したりす  
るにつれて、その混乱がしずまるものである。最も  
基本的な方略は、文脈の利用である。わからぬ文に  
遭遇したとき、子どもは徹底的に所与の文脈を求  
める学習をしなければならない。応答を用意して  
いる文脈は、句、節、文、文章、パラグラフ、と  
その集まりである。

単語では音韻形態論の手がかりを文脈の手がかり  
と関連づけたり、特定の学年では辞書その他の権  
威を利用するようにすべきである。」

文脈などを活用しての知的推量遊戯が、ここで強  
調されている。

F. Smith<sup>15)</sup>は、次のように述べている(Under-  
standing Reading Holt 1981 ここでは心理言語  
学的立場から読みが分析されている。)

「いちかばちかやってみることへの準備性は、錯誤  
をくり返すことに高価な代償を払うようにさせら  
れている入門期の読み手にとっては、重要なこと  
である。完全に確かめる前に一つの文字や単語か  
ら推して、誤りの警鐘をじゃんじゃん鳴らして発  
言する子どもよりも、誤りはおかすのであるが、  
じっとしている子どもの方が、教師を喜ばすであ

ろう。しかし、かれらは、効果的な読みに対し、あまりにも高すぎる基準を自らの内に設定する習慣を形成してしまうのである。」

ここでも、知的推量遊戯がすすめられている。K. S. Goodman<sup>13)</sup>は、次のように述べている。(読みを知的推量遊戯とした説はまことにユニークな理論である。)

「氏は、読みが常識的に考えられているほど文字や単語やそれよりも大きい言語単位の正確で精密な系列知覚ではないという前提に立つ。読みはいわば選択過程であり、読み手の期待をもとに知覚的入力から選択された最少の言語的手がかりを部分的に利用する働きである。この部分的情報が操作されるにつれて先の仮定的決定が読書過程として確認されるが、時にはそれが拒否されたり、または反対により豊かな知識となり古きものが洗練されたりする。氏は読みを心理言語的推量遊戯だと規定する。」

今までの言語指導では、フィードバック理論にもとづき、それまでに読んだところがどういことであるのかに子どもの意識をむけさせ、その上で言わば読み手に文章の立体的理論構造を構築させていたように思われる。しかしもう少し予測制御をおこなわしめることが大切ではないか。その効果の実証は今後の研究にまつが、文章を読み始め

る前に、読書中に、また時には終了後にその発展を考えさせることが、文章を全体として把握し、インプリフトに表現されている主題などにもせまることが可能だと考える。

表4によりクローズ単位が文字の場合の評価段階別の反応の割合を求めた。そこでは、聴覚障害児群の0反応は、健聴児群のそれとあまり変わらなくなっている。クローズ単位が小さくなるとそれなりに反応が出やすくなることを示すものであろう。前後の文字を挿入し、0反応は少なくさせている。

表4 評価段階別の反応の割合  
(クローズ単位が文字の場合)

評価段階	聴覚障害児群	健聴児群
6	19.6%	28.1%
5	0.1%	0.3%
4	0.7%	0%
3	0.8%	0.8%
2	0.9%	0.7%
1	62.3%	58.3%
0	15.6%	11.8%

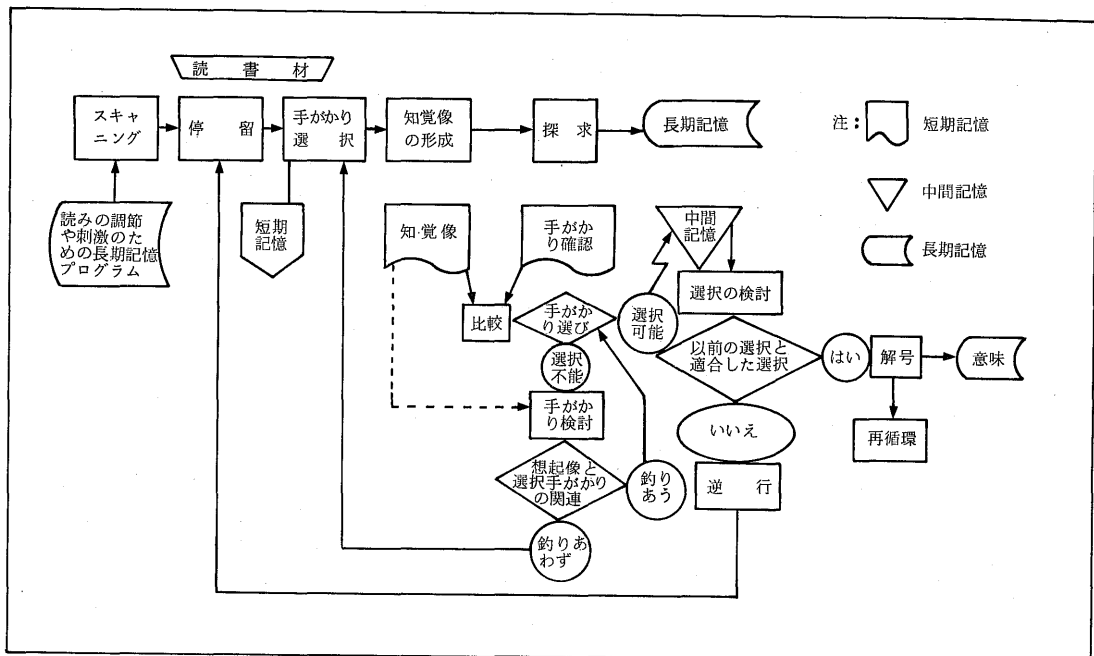


図1 読書過程モデル (グッドマン)

表5 健聴児群のクローズ反応（文節単位の場合）

被験者 刺激語	A	B	C	D	E	F	G	H	I	評価水準
しんは	しんが	もち方	さき	しん	さきは	さき	もちかたは	しんが	しんが	5
こくえんと	はっきり	黒はい	とがって	くろい	とんがっていはず	まるまって	くろくて	おれて	まん中に	3
いう	ねん土	もので	もの	0	ものは	もの	長い	けしゴムで	おなじ	3
黒くて	こな	やわらかい	かたい	0	0	すべすべしたもの	しるし	えんびつでした	なまえです	3
やわらかい	ねん土	すみ	もの	3	ちがって	ものが	もちやすい	とでもつよいんです	字が	2
石と	ねん土	すな	3	かんじ	0	0	えんびつです	しんです	0	0
ねん土で	ねん土	まぜて	0	つくっている	ちがって	作られている	つくる	石のようなえんびつ	くろい	2
作ります	作られて	3	5	0	作った	5	そのつには	つくったえんびつ	0	0
えんびつで	0	0	0	0	0	それで	1	そして	2	
字や	0	書く	3	0	じを	4	0	かきます	つくって	2
絵が	3	もじ	2	0	や	1	2	字をかく	0	0
かけるのは	0	なげでしよう	0	3	かける	3	3	かけます	かけます	3
しんの	0	0	3	2	えんびつの先が	3	0	かたいしんです	しんが	1
中に	3	0	0	3	ところ	2	2	さきです	くろい	2
こくえんが	3	0	0	0	くろいほうぼう したものが すみのような 黒いものが	3	0	石とねん土が はいっている	ねん土みたい	2
はいて	3	入っているから	6	6	ある	2	6	はいっている	います	2
いるからです	6	いるからです	6	3	ある	2	3	いる	こくえんが	2
けれども	0	0	0	0	だから	2	2	かみなどに	たりないのです	1
こくえんだけでは	3	石とねん土は	それだけでは	5	おれでしよう	2	0	しんが	はいって	2
しんが	0	書けないから	色などが	3	できない	2	0	かけない	かたいの	2
やわらかくて	3	おれちゃうから	できません	3	2	3	1	おれる時もある	やらわく	1
おれやすいので	3	おれちゃうから	できません	3	0	3	1	よわいしんです	そして	1
ねん土を	3	石とねん土を	やわらかい 石とねん土を	3	われてしまう	2	3	あんまりつよく かけない	かたし	1
まぜるので	3	まぜて	まぜません	3	あまりつよく かかない	2	3	と石で	いれます	1
ねん土を	0	それで	どうして	0	すると	2	1	石と	すこし	2

表6 聴覚障害児群のクローズ反応（文節単位の場合）

被験者 刺激語	A	評価水準	B	評価水準	C	評価水準	D	評価水準	E	評価水準	F	評価水準	G	評価水準	H	評価水準
しんは	ペンの	2	ノート	2	紙	2	かきました	2	けむり	1	けずりました	2		0	しんが	5
こくえんと		0	がみを	1	かく	3	かって	1	あきらか	1	かきました	2	どれた	1	とって	3
いう		0	といます	0	絵	2	国語	1	といた	0	けずいた	0	けずいを	1	すず	3
黒くて		0	紙を	2	をかきました	2	いしました	1	かく	2	した	1	もので	0	もので	3
やわらかい		0	紙を	2	しました	1	かたい	1	ベ	2	はなしました	0	物質で	0	物質で	3
石と		0	かくて	1	いう	0	岩	2	ねん	2	かたい	2	不純物と	0	不純物と	3
ねん士で	岩	2	やまと	1	いう	2	岩	2	ねん	2	かたい	2		0		5
作ります	やわらかい	2	作りました	5	かわませている	1	りんど	0	とら	1	作りました	5	つく	1	作られています	0
えんびつで		0		0		0	しんは	2	何	2	作りました	0		0		0
字や	ノートに	3	絵を	3		0	漢字	2	黒くて	2	わすかした	0	字を	0	字を	3
絵が	かく	2	考えて	1		2	かきました	2	かく	2	わすかした	1	絵を	0	絵を	3
かけるのは		0	かきます	2	かきました	2	かく	2	作りました	1	かいた	2	かけます	0	かけます	3
しんの	お話を	2	何が	3		0		0	やわらかい	1		0	マンガ	1	しんが	4
中に		0	紙を	1	中	2	なりました	1	何は	1	した	1	こくえん	2	こくえんが	4
こくえんが		0	かきました	2	えんびつ	2	いう	1	しん	2		0	こくえん	0	こくえんが	6
はいて	いうこと	1	青に	1	やわらかいで	1	いう	1	いう	1	ました	1	黒くて	2	こくえんが	3
いるからです	います	2	かばんを	1		0		0	しました	1		0		0	入っています	3
けれども		0	えんびつ	2		0	えんびつ	2	くだもの	1		0		0	いて	0
こくえんだけでは		0		0	ねんど	2	石	2	車	1	わかりません	1	ぼくたちは	1	ケンゴムで	3
しんが		0	入って	2	入って	2	はいて	2	はいて	1	からんぼ	1	ありません	3	かきにくい	4
やわらかくて	はいて	2	かけるので	2	かけるので	2	やわらかい	3	いって	1	ほれました	1	少し	0	おれやすく	3
おれやすいで		0	石とねん士で	3	つくった	2	こくえん	2	えんびつ	2		0		1		0
ねん士を		0	かきます	2	作った	2	こくえん	2	こくえん	1		0		0	かきにくい	4
ませるのです	ませる	5	作りました	2	作った	2	作ります	2	石	2	しばらく	0	作りました	1	ませ	3
ねん士を		0		0		0		0		0		1	ねん士	2		0

表 7-1 両群のクローズ反応 (文字単位の範囲)

健聴児群のクローズ反応

聴覚障害児群のクローズ反応

原文字	A	B	C	D	E	F	G	H	I		A	B	C	D	E	F	G	H	
い																			
く	す2	ん1	こ1	0	ん1	ん1	0	こ5	ん1		ん1	り1	0	か2	ら1	き1	い1	ん1	
の	の6	の6	ち3	り1	じ1	の6	さ1	の6	に1		が1	ご1	の6	の6	の6	り1	メ1	じ1	
ど	ど6	う1	お11	0	つ1	と1	0	え1	上2		0	0	0	0	み1	0	ニ1	ど6	
う	う6	う6	こ1	う6	0	に1	こ1	ま1	に2		し1	れ1	こ1	う6	う6	見1	の1	う6	
ぶ	ぶ6	ぶ6	ぶ6	ぶ6	そ1	ぶ6	ぶ6	ぶ6	に2		ど1	と1	し1	し1	し1	こ1	う1	ぶ6	
つ	つ6	つ6	つ6	つ6	つ6	の1	つ6	を1	つ6		つ6	つ6	つ6	0	つ6	が1	は1	つ6	
で	0	で6	え1	え1	え1	で6	え1	ど1	で6		え1	が3	で6	で6	で6	つ1	0	は3	
い	こ1	い6	あ1	0	0	す3	あ1	つ1	お1		0	な1	0	見1	で1	え1	つ1	い6	
ち	ぬ2	ち6	き1	0	き1	き1	く0	て1	ん1		ま3	つ1	る1	ま1	る1	見1	0	ち6	
ば	ば6	ば6	に1	ば6	ば6	に1	ば6	0	ば6		ば6	さ1	ご1	ご1	ば6	き1	ば6	ば6	
ん	ん6	ん6	へ1	ん6	ん6	ん6	ん6	え1	ん6		ん6	ん6	ん6	い1	ん6	ま1	ん6	ん6	
お	は1	お6	は1	0	よ1	つ1	す1	に1	お6		0	お6	0	高1	と1	0	や1	し1	
お	よ1	お6	と1	お6	か1	0	お6	と1	き1		0	お6	お6	0	ば1	さ1	に1	そ1	
き	き6	き6	き6	き6	な1	き6	き6	く1	き6		か1	き6	く1	か1	き6	か1	の1	き6	
い	い6	い6	い6	い6	な5	く1	な3	く1	な3		い6	い6	な3	0	ぞ1	い6	の1	い6	
の	ど1	0	ど1	の6	ど1	ど1	0	ど1	ど1		の6	0	ぞ1	0	の6	の6	は1	も1	
は	に1	は6	を3	0	が5	で1	で1	ど1	が5		し1	ぞ1	ぞ1	で1	ぞ1	か1	0	は6	
ぞ	ぞ6	ぞ6	ぞ6	0	ぞ6	0	ぞ6	あ1	か1		0	ぞ6	き1	0	く1	0	0	ぞ6	
う	う6	う6	う6	う6	う6	う6	う6	う6	う6		う6	う6	う6	う6	う6	う6	で1	う6	
で	で6	で6	で6	さ1	で6	で6	で6	さ1	で6		を1	は1	の1	0	で6	で6	0	で6	
す	す6	す6	す6	い1	す6	す6	い1	い1	す6		0	す6	と1	0	く1	す6	う1	す6	
お	う1	ぞ1	0	0	は1	0	0	こ1	お6		0	こ1	0	0	う1	0	と1	ち1	
と	よ1	お1	お1	0	な1	お1	お1	の1	お1		0	お1	お1	お1	お1	お1	う1	お1	
な	に1	が1	を1	う1	か1	が1	と1	を1	の1		な6	し1	う1	り1	う1	こ3	の1	な6	
六	十1	し1	の3	の3	が3	の3	み1	の3	よ1		で1	で1	で1	が3	に3	は3	0	し1	
十	さ1	0	0	0	お1	ば1	年1	十6	じ1		月1	0	人3	月1	さ1	0	人3	さ1	
に	い1	の1	さ1	0	人6	か1	た1	き1	き1		才2	0	さ1	に6	才2	才2	0	さ1	
ん	な1	0	こ1	な1	で1	大1	も1	な1	お1		0	な1	0	な1	で1	な1	い1	ん6	
ぐ	の3	の3	に1	0	0	0	い1	で3	ほ1		じ1	で3	ぞ1	0	す1	で3	い1	ぶ1	
ら	ら6	ら6	ら6	ら6	い1	ん1	ら6	ら6	み1		い6	い6	い6	い6	い6	い6	0	い1	ら6
い	い6	い6	い6	し1	い6	0	し1	い6	い6		い6	い6	い6	い6	い6	い6	の1	い6	
の	の6	の6	い1	0	人1	の6	い1	い1	の6		と1	で3	多1	で3	か1	の6	は3	の6	
お	お6	た1	た1	0	せ1	人1	お6	人1	お6		0	で1	お6	で1	で1	見1	と1	お6	
も	も6	も6	お1	0	い1	も6	お1	つ1	お1		0	ん1	お1	父1	と1	0	し1	も6	
さ	さ6	さ6	さ6	い2	ぐ1	さ6	さ6	く2	い2		い2	い2	い2	ど1	い2	い2	い2	さ6	
の	が3	の6	で3	の6	人1	で3	で3	を3	で1		0	で3	は1	ん1	の6	は1	0	で3	
ぞ	あ1	う6	ぞ6	0	0	ど1	0	は1	お1		0	な1	で1	0	せ1	0	0	た1	
う	う6	う6	う6	う6	う6	う6	う6	う6	う6		う6	う6	う6	う6	う6	う6	う6	う6	
も	が3	は3	で1	0	も6	で1	は3	の1	で1		の1	は3	で1	で1	も6	は3	0	は3	
い	い6	0	0	い6	い6	い6	へ1	お1	と1		0	ち1	0	で1	く1	見1	0	い6	

表7-2

ます	ま	0	ま	ま	た	る	0	の	い	も	ち	0	ま	ま	こ	る	ま
す	す	0	す	す	す	す	は	は	す	す	は	す	ま	ま	も	は	す
か	か	0	か	か	か	か	い	い	お	0	け	す	そ	に	1	1	は
ら	ら	0	ら	ら	ら	ら	い	つ	が	0	い	び	ち	1	0	0	は
が	が	0	が	が	が	が	も	な	う	0	う	て	1	く	0	0	い
つ	つ	0	つ	あ	あ	あ	も	が	も	0	で	0	0	か	に	0	も
よ	よ	0	よ	よ	い	よ	よ	あ	あ	0	つ	0	い	に	0	つ	つ
い	い	0	い	い	い	く	く	よ	よ	0	よ	ら	き	ら	き	よ	よ
の	の	0	の	の	の	の	の	く	く	0	い	い	い	く	い	い	く
で	で	0	で	で	で	で	の	ち	の	0	と	べ	で	の	の	な	ぞ
お	お	0	お	お	お	お	へ	2	か	0	す	は	0	で	0	で	は
お	お	0	お	お	お	お	も	も	も	0	す	す	ぞ	す	す	1	す
き	き	0	き	き	き	き	き	き	き	0	き	お	き	き	き	き	お
い	い	0	い	い	い	い	い	い	い	0	い	い	い	い	い	い	い
木	も	0	も	も	も	も	の	の	か	0	を	で	の	の	の	の	の
や	も	0	を	の	も	な	な	1	ら	0	が	は	を	を	ち	は	を
い	し	0	お	0	た	も	0	0	く	0	0	水	み	え	ま	0	い
し	も	0	し	0	も	や	な	ど	を	0	を	0	ま	ま	が	な	し
な	ど	0	を	0	ど	ん	ど	ど	ど	0	ど	ど	り	り	か	0	ど
ど	も	0	を	を	を	も	も	も	も	0	と	と	う	う	う	0	を
を	ひ	0	も	も	は	も	も	も	も	0	い	お	0	で	し	0	う
は	こ	0	こ	こ	な	ぶ	に	に	な	0	り	ら	の	お	し	0	ら
こ	ぶ	0	こ	こ	ぶ	の	こ	こ	こ	0	で	ん	の	し	が	と	び
の	力	0	こ	こ	は	の	こ	こ	こ	0	0	箱	を	し	を	の	や
に	も	0	ら	0	で	で	は	は	つ	0	は	は	0	は	0	で	つ
つ	か	0	0	0	0	か	か	よ	か	0	し	い	い	で	し	く	か
か	れ	0	つ	れ	れ	ま	ま	う	は	0	め	く	い	ぶ	か	く	わ
う	の	0	の	の	の	の	の	ち	の	0	れ	ま	い	れ	う	れ	ぞ
こ	と	0	と	と	と	と	と	と	と	0	と	0	0	ま	と	と	と
も	に	0	も	も	も	も	も	も	も	0	が	を	を	を	を	0	も
あ	り	0	で	あ	あ	あ	で	ち	あ	0	い	0	か	に	し	0	で
り	ま	0	り	る	る	る	り	り	の	0	め	か	か	に	り	あ	り
ま	す	0	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま	0	ま	ま	ま	ま	ま	ま	ま
す	0	0	す	す	す	す	す	す	す	0	す	す	す	す	す	す	す
た	0	0	い	0	0	0	だ	0	ん	0	い	ち	だ	た	た	0	そ
の	り	0	ち	0	0	な	1	0	お	0	は	の	の	し	の	は	は
り	も	0	ご	0	ま	る	3	0	ち	0	っ	い	0	え	て	0	い
の	の	0	た	つ	の	で	1	た	1	0	ん	ば	の	く	く	を	の
に	に	0	の	を	も	で	1	に	6	0	0	と	で	す	3	0	に

表7-3

する	も3 る6 こ6 と6 が3 あ6 り6 ま6 す6 0 0 い6 は6 な6 0 0 き6 い6 体3 を1 か1 0 0 さ6 な3 か1 も3 0 し6 い6 心1 が3 し6 て6 い6 ま6 す6	も3 る6 の1 と6 も6 で1 ま6 す6 0 ま1 り6 い6 は6 な6 0 も1 お6 き6 い6 も1 み6 ち1 い1 0 が1 か1 い3 な1 も3 り1 し6 い6 の1 と1 見1 0 か1 る3 ま6 す6	も3 と1 と6 も6 あ6 り6 ま6 す6 0 り1 い6 は6 な6 お6 お6 き6 な5 み6 ち1 0 か1 い3 て6 め1 さ6 い6 め6 を6 し6 て6 い6 る3 ま6 す6	0 も1 と6 あ6 り6 ま6 す6 0 0 い6 は6 な6 お6 お6 き6 な5 み6 0 0 か1 い3 て6 め1 さ6 い6 め6 を6 し6 て6 い6 る3 ま6 す6	の1 わ1 と1 う1 も6 あ6 り6 ま6 す6 0 ん1 い6 は6 な6 は1 も1 き6 の1 み6 が1 す3 0 か1 い3 て6 な1 も3 わ1 し6 い6 め6 を6 も1 て6 い6 る3 ま6 す6	0 こ6 と6 も6 で1 あ6 り6 ま6 す6 0 す1 い6 は6 な6 が1 お6 き6 な5 は1 お1 つ1 0 ま1 か1 な3 0 し6 く2 ぞ1 ぞ1 が3 も1 て6 い6 る3 ま6 す6	も3 す6 お1 の1 の1 に1 な1 あ6 り6 ま6 す6 0 そ1 な1 い6 は6 な6 0 ま1 に1 き6 い6 な5 も1 な1 ま1 お1 か1 さ6 い3 な1 も3 り1 い1 い6 お1 あ1 の1 お1 て1 ま6 す6	0 と6 も6 り6 ま6 す6 0 0 イ6 デ1 コ1 0 0 き6 い6 の1 み6 0 0 さ6 イ3 0 し6 い6 で1 0 て6 0 ま6 す6	た1 る6 0 と6 を1 り6 ま6 す6 0 に1 い6 き1 が1 お6 き6 い6 の1 み6 が1 も6 く1 0 さ6 い3 く1 0 れ1 し6 い6 で1 0 て6 0 ま6 す6	0 ん1 こ6 と6 が3 あ6 り6 ま6 す6 0 に1 い6 の1 0 き1 お6 き6 い6 は1 が1 0 す2 は1 0 か1 か1 さ6 い3 0 あ1 ま1 し6 く3 0 み1 見1 0 る6 ま6 す6	つ1 み1 0 と6 も6 あ6 り6 ま6 す6 0 ま1 ど1 い6 の1 つ1 0 お6 き6 い6 の1 み6 0 は1 0 か1 か1 さ6 い3 0 ま1 お1 し6 い6 の1 で1 0 さ1 め1 て6 0 い6 ま6 す6	で1 る6 こ6 と6 で1 あ6 り6 ま6 す6 0 ま1 し1 い6 の1 の1 に1 お6 き6 い6 の1 み6 も1 す2 0 か1 か1 さ6 い3 0 す1 お1 し6 く3 0 で1 を6 赤1 た1 は1	0 る6 こ6 と6 も6 あ6 り6 ま6 す6 0 が6 い6 の1 の1 の1 0 0 う1 ち6 さ6 い3 0 も1 ま1 い6 か0 を6 ま1 い6 る1 す6	つ1 く1 と6 は1 0 り6 ま6 す6 0 か1 い6 の1 の1 い1 お6 き6 い6 の3 は1 0 0 ち6 い6 ば1 く6 で1 も3 0 い1 い6 る1 す6	つ1 る6 こ6 と6 も6 あ6 り6 ま6 す6 0 い1 い6 の1 の1 お6 き6 い6 の3 は1 0 0 ち6 い6 ば1 く6 で1 も3 0 い1 い6 る1 す6
----	---	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	--



### 参考文献

- 1) 岡田 明, 高橋信雄, 都築繁幸, 保坂真理: 聴覚障害児の読みに及ぼす文脈の影響(1)——原文と組替え文に対するクローズ反応の比較——日心 43 回大会論文集, 昭 54
- 2) 岡田 明他: 聴覚障害児の読みに及ぼす文脈の影響(2)——文脈の位置によるクローズ反応の分析——特教 17 回大会論文集, 昭 54
- 3) 岡田 明: クローズ法について 日本読書学会 23 回大会論文集, 昭 54
- 4) 岡田 明: 弱視児の読みに関する実証的研究 学芸図書, 昭 54
- 5) 岡田 明他: 聴覚障害児の読みに及ぼす文脈の影響, 17 巻, 3 号, pp.1~8 特教研, 昭 55
- 6) 岡田 明: 聴覚障害児の読みに及ぼす文脈の影響(その 3), 特教 18 回大会論文集, 昭 55
- 7) 岡田 明: 精薄児の読みに及ぼす文脈の影響, 教心 22 回大会論文集, 昭 55
- 8) 岡田 明: 聴覚障害児の読みに及ぼす文脈の影響(その 2), 心身障害学研究, 5 巻 1 号, pp.31~36, 昭 56
- 9) 岡田 明: 聴覚障害児の心理と教育, 学芸図書, 昭 56
- 10) 岡田 明: 聴覚障害児の読みに及ぼす文脈の影響(その 4), 教心 23 回大会論文集, 昭 56
- 11) 岡田 明: 聴覚障害児の読みに及ぼす文脈の影響(その 5), 特教論文集, 昭 56
- 12) 岡田 明: 聴覚障害児の読みに及ぼす文脈の影響(その 3), 心身障害学研究, 6 巻 1 号, pp.49~78
- 13) Goodman, K. S. The Psycholinguistic Nature of the Reading Process. Wayne State Univ. Press 1968 pp. 15~26
- 14) Robinson, H. A. 読書教育学——読書教育の心理・社会言語学的基礎, 総合教育技術, 1973, 1 月号, 82~91
- 15) Smith, F. Understanding Reading Holt 1981 pp. 31~41

## Summary

### An Experimental Study of Effect of Contextual Constraints upon the Reading by the Hearing Impaired(4)

Akira Okada and Sachiko Ogata

The aim of the present study was to analyse the effect of contextual constraints upon the reading by the hearing impaired. To achieve the purpose the writer used the modification of the cloze procedure created by W. L. Taylor.

Subjects performed intelligent guessing game as follows. First, the segment of a sentence was presented to them. But next segment was covered with a paper. Subjects should guess this covered segment. In two ways of cloze unit this experiment was done. One cloze unit was a letter, while the other clause.

The hearing impaired was lack of enough anticipation or guessing, compared with the normal children.